

平成 17 年度

## 慶應義塾大学大学院入学試験問題

法務研究科

# 法律科目試験（論述式）

- 注 意
1. 指示があるまで開かないこと。
  2. この問題冊子は 8 頁ある。試験開始後ただちに落丁，乱丁等の有無を確認し，異常がある場合にはただちに監督者に申し出ること。
  3. 受験番号と氏名は，解答用紙（表）上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入すること。
  4. 解答用紙の を記した空欄内には何も書いてはいけない。
  5. 解答は科目ごとに指定された解答用紙に書くこと。誤った解答用紙に解答した場合でも，解答用紙の交換や再交付には応じない。
  6. 答えは横書きとし，解答用紙（表）の左上から，順次，実線内に一行ずつ書き進めること。
  7. 答えは，黒インクの万年筆またはボールペンで書くこと。
  8. この問題冊子の 3，5，7，8 頁は白紙である。下書きの必要があれば，この部分を利用し，解答用紙を下書きに用いてはならない。
  9. 注意に従わずに書かれた答案，乱雑に書かれた答案，解答者の特定が可能な答案はこれを無効とすることがある。

# 憲法

## [問題]

Yは私立大学であるが、その学生Xは、Yの再三の指導にも拘らず学外政治団体と連携して政治的なビラを学内において繰り返し配布した。Yは、この行為が学内におけるポスターの掲示およびビラの配布を許可制としたYの学則に違反し、また、学生の思想の穏健中正を標榜するYの建学の精神に反するものであるとして、Xを退学処分とした。これに対してXは、処分が違法であると主張して出訴した。

- (1) 本文の事例に含まれる憲法上の論点について検討しなさい。なお、処分にいたる手続には瑕疵がないものとする。
- (2) 本文の事例において処分の内容が「無期停学」であった場合、Yは「本件処分は大学内部の問題であるため、裁判所は審査を控えるべきである」と主張できるか。

## 民法

### [問題]

Y 所有の甲地について、Y から販売の代理権を付与された息子 A は、X に「公簿面積 200 平方メートル、1 平方メートル当たりの単価 22 万円、価格 4400 万円」とする売買契約を申し込んだ。X が A に 1 平方メートル当たりの単価が安くないか折衝したところ、A は 20 万円に値下げする旨回答した。これをうけて、X は、甲地を 1 平方メートル当たりの単価 20 万円、価格 4000 万円で購入することとし、A に対し甲地の実測図面を要求したところ、A は、甲地の面積が 200 平方メートルである旨が記載された公図の写しを X に交付した。X は、これにより甲地の実測面積が 200 平方メートルであることが確認されたと考え、それ以上に実測図面を要求しなかった。その後、A が Y を代理して、XY 間に甲地につき代金を 4000 万円とする売買契約が締結された。

- (1) 本文の事例で、もし実測面積が 180 平方メートルであることが判明し、X が予定していた建物の建築ができなくなってしまった場合、X は Y に対していかなる法的主張をいつまでできるか検討せよ。
- (2) (1) の場合において、Y は実測面積が不足していることを知らなかったが、A は実際の面積が不足していることを知りながら敢えて告げなかったときには、X は Y に対していかなる法的主張をいつまでできるか検討せよ。
- (3) 本文の事例で、もし実測面積が 210 平方メートルであることが判明した場合、Y は X に対していかなる法的主張をいつまでできるか検討せよ。

## 刑 法

### [問 題]

A から多額の借金をしていた X は、その返済に窮したため、A を事故死に見せかけて殺害し、借金の返済を免れようと考えた。計画の具体的な内容は、クロロホルムを使って A を失神させたうえ、崖から海中に突き落として溺死したように見せかけるというものであった。某日、これを実行に移した X は、まず、多量のクロロホルムを染み込ませてあるタオルを A の背後からその鼻口部に押し当て、クロロホルムを吸引させて A を昏倒させた。ついで、X は、自動車を用いて A を約 2 キロメートル離れた崖の上まで運び、ぐったりとして動かない A を海中に転落させた。ところが、X は気づいていなかったが、A はクロロホルム摂取に基づく心停止により転落以前にすでに死亡していた。A を崖から転落させた直後に、X は、A の家に保管されている借用証書等の関係文書を破棄してしまおうと考えるに至り、A が 1 人で住んでいたマンション居室内に侵入した。そこで目的の文書を発見したものの、その場で痕跡を残さずに破棄することは難しいと判断した X は、破棄するために自宅へ持ち帰り、とりあえず自分の机の引き出しに入れておいた。ところが、X は、実際にこれらを破棄する前に、A 殺害の容疑で逮捕されてしまった。

X の罪責を明らかにせよ（特別法違反の点は除く。）。